

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/02/27号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

需要不安と供給不安で不安定な値動き

NY原油先物相場は、1バレル=73.80ドルまで下落した後、76ドル台前半まで切り返し、前週比では小幅安となった。週前半は中国経済に対する不信感の蒸し返し、米利上げ長期化によるドル高と景気減速リスクに上値を圧迫され、下値模索の展開になった。米原油在庫が増加傾向を維持していることもネガティブ。ただ、週後半は短期的な下げ過ぎ感やロシア産の供給不安を手掛かりに押し目買いが入り、結果的には最近のボックス相場が踏襲される展開になった。

ロシアは3月に日量50万バレルの自主減産を実施すると表明している。4月以降の対応は決まっていないとされているが、少なくとも短期的な供給不安は高まり易い状況になっている。ロシア系メディアでは、同国石油会社が3月の出荷量を落とさず維持するとの見通しも報じられている。一方、Reutersは西部からの輸出が最大25%減少するとの同国石油市場筋の発言を報じている。実際に3月にどのような生産、出荷環境になるのかは不透明感が強いが、供給リスクの高まりが原油相場を下支えした。

米エネルギー情報局 (EIA) の米石油在庫 (2月17日時点) は、原油が前週比765万バレル増、ガソリンが186万バレル減、石油精製品が270万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレーム) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

ボックス傾向が続く、米金利動向や月初の中国指標に注目

70ドル台前半から80ドル台前半のボックス相場が続いており、同ボックスの継続を前提とした売買環境になろう。需要サイドでは、米国などで利上げ長期化観測が強くなっていることはネガティブ。米長期金利が4%の節目を突破し、更にドル高や株安が進行すれば、原油相場も需要不安に上値を抑えられよう。特に米原油在庫の増加傾向が維持されると、改めて70ドル台前半を試す可能性がある。一方、3月はロシア産石油供給の減少リスクが高く、本格的な値崩れまでは求められないだろう。特に月初の米中製造業指標などが景気リスクを軽減させる内容になると、改めて80ドルを試す可能性もある。ただ、逆に80ドル台前半から大きく値位置を切り上げるには、エネルギーが不足している。ボックス相場での押し目買い、戻り売り優勢の地合が続く見通し。

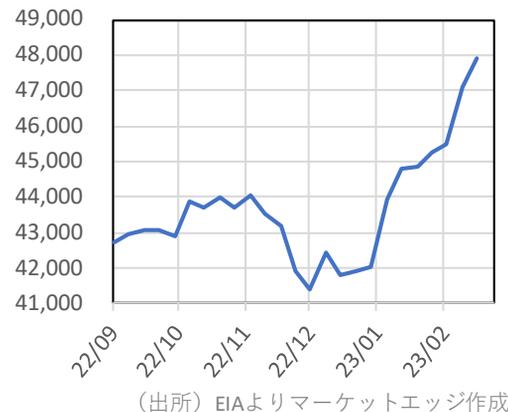
米金利上昇圧力が資産価格全体を不安定化させている。デイスインフレへの期待感が後退していることで、従来想定されていたよりも長期にわたる利上げが必要との見方が浮上している。既に6月も追加利上げが実施される可能性はかなりの程度まで織り込みが進んでいるが、米金利上昇圧力が続くと、原油相場の上値は圧迫され易い。特に米長期金利が4%を超えると、ドル高・株安が加速することで、投げ売りが膨らむリスクに注意が必要。

一方、ロシアは3月の大規模減産を表明しているが、実際に減産が行われ、更に出荷量も落ち込んでいることが確認できると、改めて買いが膨らみ易くなる。ウクライナ戦争が始まってから1年目を迎えて、地政学環境が一段と不安定化していることにも注意が求められよう。ロシアがエネルギーを武器化する動きをみせると、不測の混乱が生じる可能性もある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

